

第33回 武蔵野文学賞 募集要項

文芸評論家の秋山駿（1997～2001年教授）や小説家の三田誠広（2009～2019年教授）も教壇に立ってきた武蔵野大学文学部では、文芸創作の魅力を発信し、高めてゆく場として、1993年から「武蔵野文学賞」を実施しています。文学部の在学生だけでなく、卒業生を含めて全学科から無料で応募することができる賞です。各分野で活躍する審査員の先生方に、あなたの才能をぶつけてみませんか。

(1)内容

- 創作：小説・詩・短歌・俳句・児童文学・戯曲・シナリオなどジャンルは問わない。いずれも、未発表作品に限る。
- 書道：テーマは文学作品または武蔵野を題材とした書。未発表作品に限る。

(2)応募資格

本学の学生、大学院生及び卒業生。
(学部・学科は問わない)

(3)枚数

- 創作：小説・児童文学・戯曲・シナリオは400字詰め原稿用紙換算50枚以内、詩は3～5編、短歌20～30首、俳句20句～30句程度。
- 書道：全文でも一節でもよい。紙の大きさは、小画仙半切大程度（縦横自由）3点以内。まくりのまま（表装してあるものは不可）。

(4)締切

【郵送の場合】

2025年9月29日（月）消印有効。

【学内持ち込みの場合】

2025年9月22日（月）～9月29日（月）の10時～17時に武蔵野学部事務課（6号館1階）まで提出のこと。

(5)提出先

〒202-8585

東京都西東京市新町1丁目1番20号

武蔵野大学 文学部日本文学文化学科 宛

※封筒オモテ面に「武蔵野文学賞応募作品在中」と赤字で記してください。

(6)応募上の注意点

- 創作部門の作品原稿の冒頭にはタイトルのみを記し、必ず無記名としてください。作品にはページ番号を振ることが望ましい。また、別紙に応募ジャンル、題名、氏名（よみがな）、学科・学年（または卒業年度）、住所、電話番号、メールアドレスを明記すること。複数の部門に応募する場合には、作品ごとに別紙を添付してください。
- 書道作品はA4版の紙に、上記以外に題材とした文学作品の作者名と題名および釈文をもあわせて明記し、表左下にクリップでとめておくこと。

(7)発表および表彰

入賞者には、2025年12月初旬～中旬にかけてメールで通知します。表彰式は、2026年1月7日に開催予定の第34回国文学会総会内で実施します（賞状および記念品を贈呈）。また、入選作については、2026年3月刊行予定の『武蔵野文学賞作品集』誌上で発表します。

審査員

【創作部門】 町田康（作家・特任教授） 文月悠光（詩人・客員准教授） 井上弘美（俳人・客員教授）
林あまり（歌人・講師） 寺井龍哉（歌人・専任講師） 堀切克洋（俳人・教授）
土屋忍（近現代文学研究者・教授） 三浦一朗（近世文学研究者・教授） ほか

【書道部門】 廣瀬裕之（書家・教授） 殿村美奈子（書家・講師） 城間圭太（書家・講師）

【問い合わせ先】

武蔵野大学 国文学会『武蔵野文学賞』係（文学部日本文学文化学科）

042-468-3350（武蔵野学部事務課）